

第 2 回原因究明委員会の概要及びその後の対応状況

1 第 2 回吉備中央町原因究明委員会

- (1) 日 時 令和 6 年 2 月 2 1 日 (水) 13 : 30 ~
(2) 場 所 吉備中央町役場賀陽庁舎 2 階 中会議室
(3) 概 要

① 報 告

- 第 1 回委員会の概要及びその後の対応について町から報告

② 議 事

ア 第 1 回委員会の意見について（議題 1）

a 直鎖体・分岐異性体及び同族体の解析結果

- 資材置場及び周辺の表層土壌並びに公共用水域の解析結果について、県から説明
《主な意見》
 - ・ 資材置場の表層土壌に浸透した P F O A が地下水に混入して西側沢 F 1 で検出されているという仮説の確度を高めるものである。
 - ・ 下流河川等の高濃度事象に対し、置場 8 及び 9 周辺の表層土壌中の有機フッ素化合物の寄与が高い可能性があり、置場 1 及び 3 周辺の寄与は低い可能性がある。
 - ・ 資材置場周辺の土壌から検出された P F A S は、資材置場の影響である。
 - ・ 資材置場内のいずれの地点でも、置かれていた使用済み活性炭から溶出した P F A S が表層土壌へ浸透した。

b 使用済み活性炭及び表層土壌の単位重量当たり溶出量

- 県から説明
《主な意見》
 - ・ なし

c 公共用水域等の継続モニタリング

- 計画の変更及び令和 6 年 2 月の結果について、県から説明
《主な意見》
 - ・ 全体的に低くなっており、使用済み活性炭を撤去した影響が考えられる。
 - ・ 化学物質による地下水汚染事例では、発生源を除去した後、周辺濃度は変動しながら徐々に下がることが多く、一時的な濃度の上昇も見込まれるため、長期的なモニタリングが必要である。

イ 今後の調査内容について（議題 2）

- 資材置場及び資材置場周辺の土壌及び地下水の調査計画案について、町から説明
《意見等》
 - ・ 現在の計画どおり実施し、第 3 回委員会で調査結果を報告されたい。

2 その後の対応状況

(1) 公共用水域等の継続モニタリング

- 令和 6 年 4 月及び 6 月に実施（令和 6 年 4 月から大下橋下流に調査地点を追加）

(2) 資材置場及び北側の土壌及び地下水の調査

- 令和 6 年 5 月に実施